



中高校生向け産業探訪シリーズ“はかる”

@京都市立西京高等学校

“はかる”ことは、およそ物理、化学、生物等の自然科学では、基本である。はかった結果を分析し、課題解決の糸口を探る、サイエンスの常道である。近年のデータサイエンスやAIの目覚ましい革新は、自然科学のみならず、社会科学や人文科学の飛躍的發展を招く時代になり、“はかる”はセカンド・ステージを迎えた。本セミナーでは、はかる産業で取組んでいる課題や最先端技術の取り組みを紹介し、はかる産業の社会的意義の理解を深める。

13:20-14:00

- 開会挨拶 PLIJ代表者
- 司 会 京都市立西京高等学校生徒

<第一部> 基調講演

- 「企業技術者として社会課題に挑む
ー理系に興味を持ってしまった高校生のその後ー」 (30分)
(株)島津製作所 西本尚弘 常務執行役員CTO



14:00-14:50

<第二部> “はかる”課題・“はかる”最先端技術

- 「“はかる”産業におけるキャリアの選択肢」
(株)堀場製作所 矢野敦子 開発本部設計技術センター副センター長
- 「半導体ビジネスにおける“はかる+制御”の産業貢献」
(株)堀場エステック 氷見知之 Gas Control Solution事業部
Technical Marketingチームリーダー
- 「はかる産業の社会貢献～下水サーベイランス事業で感染症を防ぐ挑戦～」
(株)島津製作所 橋本果歩 分析計測事業部 ダイアグノスティクス
統括部臨床・感染症検査BU 感染症検査G

14:50-15:20

<第三部> パネルディスカッション

- ファシリテーター (株)島津製作所 松本恵子 分析計測事業部 部長
- パネルディスカッション 参加高校生vs全登壇者との質疑中心
- クロージング 京都市立西京高等学校教員代表

2026
11/12(木)
13:20～15:20

お申込み方法

QRコード、または以下リンクから、お申込みください。
参加費無料です。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_PTNHZidZSumPTJlZRH-M_g



※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断りいたします。

問合せ先:一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム
事務局:info@plij.or.jp

今回のセミナーの参加者は京都市立西京高等学校の生徒さんになります。
他校の生徒さん教員はZoomウェビナーで視聴ください。

主催

一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

協力

京都市立西京高等学校

プロフィール

島津製作所 西本 尚弘

1989年に京都大学理学部を卒業後、島津製作所に入社。入社後はMEMS技術の社内立上げのため東北大学に派遣、24年間MEMSの分析応用を中心に研究に従事、表面のナノメートルの凸凹を計測するデバイスやDNA分析用マイクロチップ等の開発に携わる。技術開発に加え、研究所に新事業開発部門を立ち上げ、その後経営戦略室での業務を経て、2022年に基盤技術研究所長として研究所に復帰。2024年に執行役員、2025年に常務執行役員CTOに就任。技術戦略と新事業創出を主導し、社会に貢献できる成果を世の中に出すことを目指している。

島津製作所 松本 恵子

1998年に京都大学エネルギー科学研究科を卒業後、島津製作所に入社。入社後は分析化学を専門とし、アプリケーションケミストとして、液体試料中の成分を分析する分析機器（高速液体クロマトグラフ）の装置や分析法の開発に携わる。2023年10月に副ビジネスユニット長に就任。製薬、化学、環境など様々な分野の社会課題に対して、分析で役立つことを目指している。身近な分析対象として、食品の味わいの特徴を科学的に説明する研究（可視化）にも取り組んでいる。

堀場製作所 矢野 敦子

1997年 同志社大学工学部電子工学科卒業後、堀場製作所に入社。入社当初より、環境ガス計測分野の製品の電気系設計に携わり、アナログ系の回路設計を中心に構想段階から各種認証試験まで、一連の製品開発業務を経験。2012年からは複数分野の製品の設計担当者を束ねるマネジメントに携わる。2020年から約5年間、堀場エステックの品質保証部門に出向したのち、堀場製作所の設計共通部門に帰任。

堀場エステック 氷見 知之

2002年 北陸先端科学技術大学院大学材料科学研究科卒業後、堀場エステックに入社。入社後は開発本部にて主力製品である流体制御機器マスフローコントローラや新市場向けの要素技術研究、製品開発、開発企画に携わる。その後、海外営業部を経て、アプリケーションエンジニア兼技術マーケティングとしてアメリカ赴任。帰任してからは経営戦略本部にて技術マーケティングを担当する。

島津製作所 橋本 果歩

2020/04～2022/03 大阪府立大学工学域物質化学系学類応用化学課程（学部3回生で編入）
2022/04～2024/03 大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻応用化学分野（生体高分子化学研究室）
2024/04 株式会社島津製作所入社。入社後はマイクロチップ電気泳動装置の試薬開発/販促および、下水サーベイランス事業の普及に従事。

株式会社島津製作所

島津製作所は1875年創業、京都に本社を置く精密機器メーカーで、分析計測機器、医用画像診断機器、産業機械、航空機器など多岐にわたる製品をグローバルに展開しています。これらの技術は医薬・環境・ライフサイエンス分野の研究開発や品質管理、医療現場での早期診断、半導体製造プロセス支援、航空・海洋分野の安全性向上など多方面に貢献しています。また、同社は「科学技術で社会に貢献する」を社是とし、「人の健康」「安心・安全な社会」「産業の発展」を使命に、革新的な製品・サービスの提供を通じて社会課題の解決を目指しています。グローバルで約1.4万人の従業員を擁し、長年培った技術力を基盤に持続可能な社会の実現に取り組む企業です。

株式会社堀場製作所

HORIBAは70年以上にわたり、世界中のお客様の変化し続けるニーズに応えるべく、独自の分析・計測技術を磨き、開発してきました。現在、29の国と地域にグループ会社および各拠点を展開し（※）、グローバルな社会課題の解決に資する幅広い産業・用途を支えています。企業ビジョン「おもしろおかしくあらゆる生命へ」のもと、HORIBAは、あらゆる生命がいきいきと生きられる安心・安全で持続可能な社会の実現に貢献します。また、「エネルギー・環境」「バイオ・ヘルスケア」「材料・半導体」の3つのメガトレンド事業領域に注力し、分析・計測の枠を超えた包括的なソリューションを提供しています。詳細は <https://www.horiba.co.jp> をご覧ください。
※2025年12月31日現在

京都市立西京高等学校

京都市立西京商業高等学校を前身として、平成15年4月、校名を京都市立西京高等学校へと改称、エンタープライジング科を開設。平成16年4月、京都市立西京高等学校附属中学校を創立。「進取・敢為・独創」を校是として、変化の激しい未来社会において、高い知性を育み、一人一人の個性を伸長する学習を展開し、自由な発想と果敢な実行力を持ったチャレンジ精神を滋養しつつ、未来社会の一員として調和のとれた感性を磨くことを教育目標に据え、創造的コミュニケーション能力を駆使して、グローバルな視点で自然現象・社会事象を考察し、これからの国際社会に貢献し、活躍できるグローバルリーダーシップの育成をめざしている。